

山行報告 道東の日帰りピークハント（標津岳、摩周岳、雄阿寒岳）

知床岳下山後、帰りの飛行機の予約日までに3日ほど余裕があるので、3つの山を登ってきました。

【参加者】 CL 柘植(記録)、SL 吉川、松原



(1) 標津岳（6時間） 7/7（木） 晴れ

知床を予定より早く下山したので、残りの日にちを道東のピークハントで楽しむことにする。最初は中標津空港からも近い標津岳。中標津空港近くでレンタカーを借りて、40分くらいで登山口に着く。登山道は非常に整備されており、傾斜も全般になだらかで、知床の疲れが残る身にはありがたい。元気な吉川さんと松原さんは先に行くが、柘植はマイペースで行かせてもらう。2時間ちょっとで山頂に到着。山頂からは間近に斜里岳が雄大な姿を見せている。個人的には斜里岳は2回登っているが、いずれもガスの中だったのでこういう好天のときに行けたらなと思ってしまう。ラーメンなどを食したのちに下山に移るが柘植は知床で痛めた膝が痛くて普通に歩けず、同行者に迷惑をかけてしまった。3時間以上かけてなんとか下山する。養老牛温泉で入浴後、弟子屈に向かい、道の駅が満車でテントを張れる雰囲気ではないため、近くの公園で一夜を過ごした。明日は3人とも登っていない摩周岳に登るつもりだ。



標津岳登山口



標津岳山頂（バックは斜里岳）



標津岳山頂



下山の笹道

(2) 摩周岳 (6時間) 7/8 (金) 曇り

朝起きてみると曇り空。クルマで摩周湖第一展望台に向かうが駐車場はガスの中であった。さすが霧の摩周湖だ。湖も山も見えない中を出発するが、しばらくは湖の縁の高低差の少ない道を歩く。こちら最近刈り払いがされたらしく、登山道というより林道に近い印象だ。知床や標津岳ではだれにも会わなかったが、さすがに観光地でもあるココでは登山者も結構いる。3時間ちょっとで山頂に到着する。



摩周岳の山頂はガスの中



そのうち霧が晴れてきて湖が見えはじめる



ササダニ談義しながら下山



登山口近くで天気回復 (遠方が摩周岳)

山頂では少しガスが晴れて、湖の東端が見えてきた。帰路は時間がたつにつれて視界が広がり、登山口に着くころは摩周湖の全貌が見えて大満足。帰り道で各人に何匹ものダニが喰いついているのを発見。下手にむしり取ると頭や歯が残るので要注意とのことだが、そんなことも言っておられず、お互いに取り合いする。松原さんのスマホでダニについて勉強しながら登山口の摩周湖第一展望台に戻った。明日はそんなに遠くなく、しっかり登れるところということで、阿寒へ行くことにした。本日は久しぶりに民宿に泊まって洗濯に精をだす。

(3) 雄阿寒岳（6時間） 7/9（土） 晴れ

今日は朝から好天で、暑くなりそうだ。7時前に登山口に着いたが、すでに多数のクルマが停まっており、今日も賑やかな山行になりそうだ。雄阿寒岳は雌阿寒岳とちがって全体に急だが、とくに下部が急傾斜。だが急なものも5合目までで、そこから上は傾斜が緩み、とくに7合目より先は広い山頂部を最高点目指した横歩きになる。山頂部は外輪山と中央に旧火口といえる窪地がある。この山も山頂部はハイマツに覆われており、知床の悪夢が脳裏を横切るが道がしっかりあるので問題なし。山頂でタップリ時間をとって休憩・昼食後往路を下山した。



登山口の阿寒湖の向こうに雄阿寒岳



7合目あたりで阿寒湖の向こうに雌阿寒岳



雄阿寒岳の山頂



山頂からコウモリのような形のパンケトー

一旦阿寒湖畔に戻り、公衆浴場で汗を流したあと、釧路方面に向かう。道の駅阿寒丹頂の里近くにキャンプサイトがあるので、そこで最後の夜を過ごした。

翌日は釧路方面に足を伸ばしてドライブがてら釧路港見学、厚岸の道の駅見学などでヒマつぶしをしながら中標津空港に戻り、午後の便で帰葉した。



山頂から7合目方面への外輪山の尾根



鞍部の脇には旧火口？



【番外編】

左は最終日に釧路港に遊びに行ったときにたまたま入港していた豪華客船「ダイヤモンドプリンセス」です。大勢の乗客（欧米人や東洋人）が下船中でたくさんのバスが待ちかまえ、次々とどこかに消えていきました。艦内見学の案内があったので、我々も見せてもらおうと思いましたが、事前に応募して抽選にあたった釧路市民だけが対象でした。残念！

記録担当：柘植